

広 報

なかつえ



〈人口と世帯〉

3月末現在

()内は前月比

人口 1,927人(+10)

男 946人(+5)

女 981人(+5)

世帯数 564戸(-1)

〈行 事〉

〈4月〉

23日 林業生産
活動センター
農産物集出荷所
落成式
29日 天皇誕生日

〈5月〉

3日 憲法記念日
5日 子どもの日
酒吞童子山開き
7日 慰霊祭
16日 資料館・
焼物試作場落成式

84/

4月号

No.240

750,000円

1万円札で
89,075枚

19.5%のマイナス

四月は入学式、就職など第二、第三、第……の人生の旅立ちです。村の予算も四月から新しい年度にはいり、これも一種の旅立ちにはいるかもしれません。四月から始まるのは日本、イギリスで、世界各国まちまちです。アメリカは十月、スウェーデン、オーストラリアは七月、フランス、西ドイツ、ソ連は一月からとなっています。四月から始まることに慣れている。私たちは何か変な感じがします。

私たちの生活の中で生きている慣習から、新しい年度が始まるのは四月が一番理にかなっているように思われます。

あなたの家庭の家計は何月から始まりますか。一月から、四月から、それぞれあるでしょう。なかには「そんなのないよ」とあい方もいるのでは？、私の家ではいつ始まったかまた終るのかわからない状態です。いつの日か区切りをつけたいものです。

ともあれ四月、村の家計は昭和五十九年度が始まっています。新年度の家計がどのようなになっているか、みてみたいと思います。

国の景気は回復しつつありますが、輸出超過による経済摩擦などで、高い経済成長は望めそうにもありません。したがって、村の予算に直接、間接にひびいてきます。

この中で直接関係があるのは地方交付税です。この金額は八兆五、二二七億円で前年度に比べ三・九%減になっています。単純に考え

ると村に交付される金額も三・九%減ってくるわけです。

このような状況の中で、村の予算を編成し、先に樹立した村の基本計画、むらづくり計画にもとづき、目標に近づくむらづくりを進めなければなりません。

それを進めるためには財政事情の現実を十分に考慮しながら取り組まねばならないし、行政の創意工夫と見直し合理化、財源の効率的

な運用等が必要で、以上の留意点から五十九年度の予算を編成しています。一般会計の予算総額は、八億九、〇七五万円で前年度と比べて、額で二億一、五八五万円の減額となり、伸び率では一九・五%の大幅なダウンとなっています。この減少率は昭和三十八年度の二六・七五%に次ぐ二番目のものです。

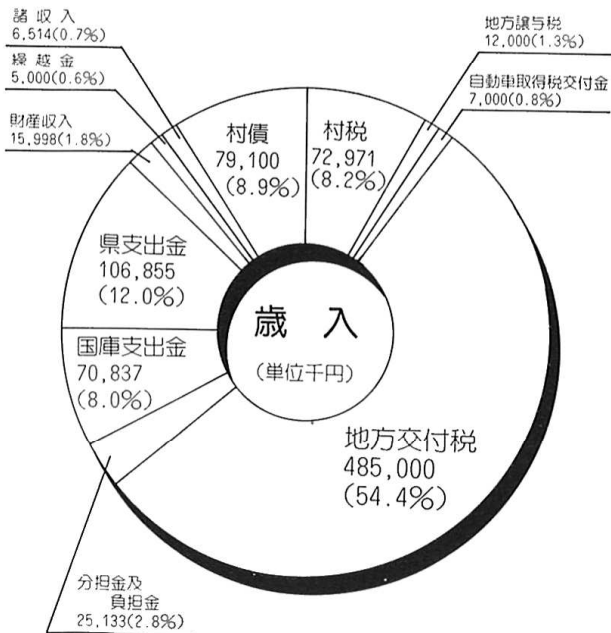
これは昨年実施した老人福祉センター建設、農業改善、金山観光開発の各事業等の終了と山村振興事業、鉱害防止事業等の事業費が減少

したことが主な原因です。減少率が高いといっても福祉、教育費など減額したわけではありません。これは、建設事業費を除けば昨年と比べると若干伸びています。

この八億九千万円の家計は、みなさんの税金で運営されるものです。家計が効果的に運営されるよう、ご協力をお願いします。

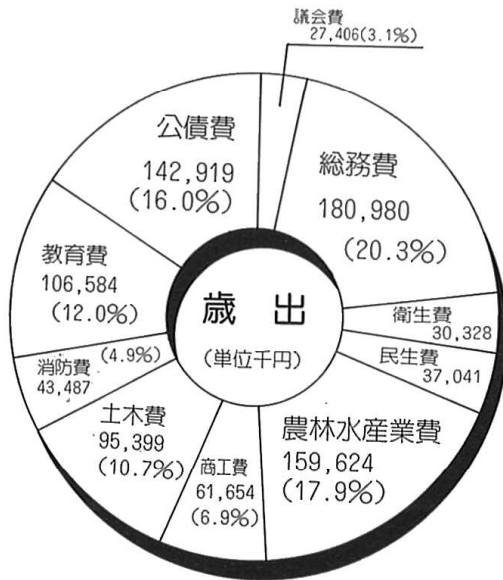
歳入は図I、歳出は図II IIIのとおりですが、歳出について、今年度における各分野の主な事業をみてみたいと思います。

図I 歳入



村の家計は 890, 昨年比べ

図II 歳出



農林業

農業面では金山観光における特産物販売による活性化の機運が徐々に芽ばえつつあるので、新品種の特産物の開発、肥培管理の改善などを進め、生産性の向上を経営体質の改善につとめたいと思います。

そのために、営農指導に力を入れるとともに、土地基盤整備事業、二又の集落センター建設事業、農免農道整備事業、農協の特産物集

教育

教育面では川辺小学校の

出荷所設備設置事業を推進し、活性化をはかりたいと思います。

林業面においてはスーパ―林道開設事業負担金により舗装の推進、一般林道の整備事業として野田線の開設、黒谷線の改良、また集団間伐促進事業等の推進により明るい光がさし込んでくるよう努力したいと思えます。

福祉保健衛生

改築を六十年度に予定しており、その基本計画の制作に着手します。

学校教育では鯛生小の地教委指定研究、丸蔵小学校の補修なかよし学校を中心とした教育の振興を図り、中学校においては、一年生を全寮生にし寄宿舎教育の充実、LL教育等の充実をはかり学校教育を振興させたいと思います。

社会教育においては人づくりの教育を進め、施設設備の整備をはかるとともに地区公民館活動に力を入れたいと思います。

また、全体的に“あいさつ運動”“美化運動”を中心に推進します。

商工観光

保健衛生面については、健康づくり運動の推進とはかる地域保健事業、各種予防接種事業を中心に行ない、みなさんが健康な生活が過ごれるようつとめたいと思います。

これらの他、福祉保健衛生については、国民健康保険事業、老人保健事業、簡易水道事業の各事業がありますが、これらについては特別会計をもって推進したいと思えます。

福祉面では四月一日にオープンした行政組合立の老人福祉センターを高令者を中心として利用して“ゆとり”をもっていただき、また在宅老人メニュー事業の継続により高令者のいきがい対策事業など福祉の充実をはかります。

商工観光面では観光ポスターを作成し、村のイメージアップをはかりたいと思います。また運輸省の家族旅行村指定により六十年度から三ヶ年にわたり事業が実施されますが、今年度はその事業認定に伴う調査があります。そのためには十分な調査研究をして、より村が発展するような青写真を策定したいと思えます。

西猪野々堆積場の鉱害防止事業も引き続き推進いたします。

土 木

土木面では
地底博物館、鯛生金山オープン以来、マイカー、大型バス等の交通量の増加により道路の整備が必要であり、道路の改良維持に努めます。

また、金山から菊池、八女方面には大型バスが通れないため、大きなネックにな

っています。国道、県道の整備を関係機関に陳情し、促進をはかりたいと思ひます。

幹線の整備も必要ですがそれとともに支線いわゆる生活道路の整備も大事なことです。道路新設改良では村道石場線、丸蔵線の舗装、黒谷線の改良等を実施いたします。

これらを中心にして安全な道路の確保につとめたいと思ひます。

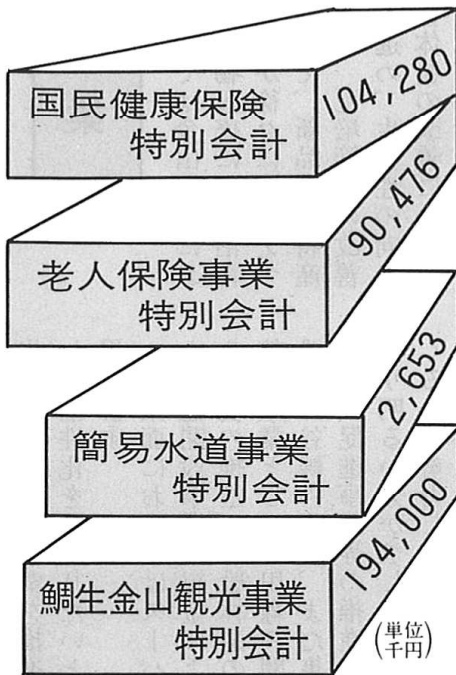
このほか、防災行政無線移動局設置事業、防火水槽設置、ポンプ積載車購入等があります。

いずれにしても、八億九千七十五万円の予算が有効に運用され、豊かで住みよい村の実現に少しでも近づきようになければなりません。

なお、詳しいことについては関係各課にお問い合わせください。



一般会計の他に四つの特別会計があります。
特別会計とは行政の多用に伴い財政運営の明確化能率の向上のため特別な経理を行なう会計のことです。つまり、特定の事業を行う場合、特定の資金を保有してその運用を行なう場合、特定の歳入をもって特定の



- 歳出にあてる場合に特別会計を設けるものです。
- 特別会計の種類と予算は次のとおりです。
- ① 国民健康保険特別会計 一億四二八万円
 - ② 老人保健事業特別会計 九、〇四七万六千円
 - ③ 簡易水道事業特別会計 二百六十五万三千円
 - ④ 鯛生金山観光事業特別会計 一億九千四百万円

目的別歳出 (単位：千円)

商工費 61,654	農林水産業費 159,624	衛生費 30,328	民生費 37,041	総務費 180,980	議会費 27,406
諸支出金 3,003	公債費 142,919	災害復旧費 807	教育費 106,584	消防費 43,487	土木費 95,399
			予備費 1,518	合計 890,750	

温泉つき

老人福祉センター落成



老人福祉センター全景



落成式風景

上津江村と中津江村が共同で建設していた、上中津江村行政組合立の老人福祉センターが栃原に三月末完成し、三月二十九日に落成式を行いました。

落成式では多数の来賓が招待され、行政組合管理者から設計会社及び工事請負業者に、また中津江村長から温泉ボーリングに援助いただいた熊本大学松本幡郎教授及びボーリング会社にそれぞれ感謝状が贈られました。式典の後、祝宴が催され、なごやかなうちに終了いたしました。

センターは、時間内であればいつでもだれでも利用できます。四月一日オープンしたわけですが、オープン

もう中津江では、はいれんと思つちよつた” また、はいることができるき、感慨無量ばい” ”こんは立派な施設はどんどん利用せにやあ” という会話が交わされていきました。

温泉の利用をセンター

表I (個人の浴料)

区分	料金	備考	
上中津江村内の住民	65歳以上 小学生	一日につき 200円	幼児は、無料です。 一日に何回入浴しても、この料金です。
	その他	300円	
上記以外の住民		400円	

表II 会議等で利用する場合

室名	区分	料金		常設電灯以外(カラオケ等)及びガスを利用するときは、500円をそれぞれいただきます。 個人が入浴する場合は別に入浴料をいただきます。
		4時間以内	4時間以上	
集会室	(4月~10月)	一室につき 2,000円	一室につき 2,500円	
	(11月~3月)	2,500円	3,000円	

祝儀等に利用する場合、及び上中津江村外の者が利用する場合は、2倍の料金とする。

ン早々の利用があり、四月末は予約で満ぱいの盛況を博しています。
入浴料、部屋使用料はそれぞれ表1、表2のとおりですが、上、中津江村の老人クラブなどの福祉団体の部屋使用料は免除されます。また、個人でも利用でき、入浴料を支払えば一日何回でもはいれるようになっていきます。まだオープンしたばかりですので、不備な点もあるかと思いますが、是非一度といわずご利用くださいますようお願いいたします。

- 利用上の注意**
- ① 会議等で多人数で使用する時、前もって申し込むこと。
 - ② 使用後は後始末を十分にすること。
 - ③ 入浴の場合はタオルの貸し出しはしない。
 - ④ 利用時間
。四月~十月
。九時半~十八時
。十一月~三月
。九時半~十七時
 - ⑤ 毎週火曜日は定休日
- *お問い合わせは
TEL 64-1311-0



誓いのことばを述べる石貫君

うめとさくらの入学式

—新1年生誕生—

いつもなら桜の花の下での入学式ですが、異常気象のため、梅と桜の花の下での入学式になりました。そこで村内の小中学校の入学式をたずねてみました。

四月十日津江中学校では午前十時から体育館で行なわれました。真新しい学生服に身をつつんだ男子十九名、女子十一名、計三十名の新一年生が胸に花をつけ緊張した面持ちで入学式に臨んでいました。

式辞、告示、祝辞の後、在校生代表の永瀬智博君が歓迎のことばをのべ、続いて新入生を代表して丸蔵小学校出身の石貫成豪君が堂々と「一生懸命がんばります」と誓いのことばをのべました。入学式終了後、引き続き入寮式が行なわれました。昨年からは新一年生は全員寄宿舎に入寮することになり今年で二年目です。二年生になると入寮対象地区の生徒しかはいれませんが、一年生の時に中学生としての自覚、及び学習習慣を身につけるためこの制度にふみ切ったものです。その日の夜から集団生活に入ったわけですが、夕食時覗いてみると和気合々として楽しそうに食事をしていました。この風景は小学校時代の仲よし学校での勉強の成果が

出ていたように思われました。可愛らしい中学生が一年後どのように変わっているか楽しみにしたいと思います。小学校の入学式は各校四月十一日午前十時から行なわれました。鯛生小学校では男子二名、女子二名、計四名、丸蔵小学校では男子のみ三名、川辺小学校では男子六名、女子五名の計十一名、村内合わせて男十一名、女子七名、計十八名がそれぞれ入学しました。小学校の入学式は中学校とちがいが緊張の中になごやかに



●写真は上から
津江中学校の入学式、鯛生小学校、丸蔵小学校、川辺小学校の新一年生と父兄

な状況での式で、ご父兄の方の心配そうな顔つきが印象に残りました。

式の終了後、それぞれ趣向をこらした歓迎会などを行ない新一年生の緊張をほぐす一面もあり、従前の入学式では絶対見られない風景で、それが修了すると全員ホッとした安心感がみなぎっていました。

四月の終りごろになるとそれぞれの新一年生は学校にも、友だちにもなれ、元気はつらつとしていていることと思います。

金山詩になる!

国東町の神田史朗君



神田史朗君

東国東郡国東町立旭日小学校五年(現在六年)の神田史朗君が鯛生金山を訪れたときのことを詩に表わして同郡の国語研究会において入賞しました。

鯛生金山がオープンして、一年になりますが、このように金山が詩の題材になるということは大変ありがたいことです。金山がただもの珍らしさで終るのではなく、学習の場、感動の場となるよう期待したいものです。

史朗君の詩は大変すばらしいもので、金山の厳しさなどを知らない同君がこんな考え方ができ、表現できるといふことに、ただ感服します。

同君の詩を原文のまま紹介します。

「鯛生金山」をたずねて

旭日小学校 五年 神田 史郎

コツ、コツ、コツ、コツ
地下五四〇メートルの抗道を歩くと、
今でも穿子の音がひびいてくるようだ。
多くの人々のあせと油の結晶が、
今でも、掘りぬかれた岩にキラキラ光る。
金の鉱脈をさがし求めた、
八十年もの歴史のおもみが、
ぼくの手足に 体に、心に
ずきん、ずきんとのしかかる。
静まりかえった黄金の道に
くつ音と、おどろきの声がひびく。
三つ留枠は、どんな人々の
苦しみや、喜びをみてきたことだろう。
岩の間からしみ出る清水は、
人々のどんな願いを、すいこんだだろう。
「一棒一条痕」の銘を残して、
今、再び 金山に
この音は、ひびかない。

史朗君は人間の歴史に非常に興味をもち、日常の学習の中でも現実には見えないものをみたり、聞こえない声を聞けたり、真実そのものに迫っていく想像力を持っている少年である。

十一月の国語学習に「いろいろな書き方で」という単現があった。ねらいは「叙述と構成に重点をおいて詩を書くことができるようにする。」である。その学習の題材選びの時、史朗君はすかさず鯛生金山で感動した体験を取り上げてきた。一回目の話は、八十年前の人々に想いをよせ、コツコツの音がひびく始まり、今、この音はひびかないで結んでいる十一行の

この詩のできるまで

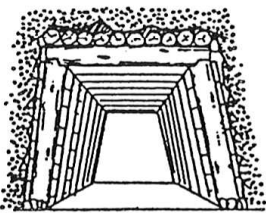
旭日小学校

友成和子先生

ひきしまった詩であったが、読み手に金山の事実がつかめないのが、承・転の構成を考える段階で、見学過程にそって今一度事実をみつめなおし、この詩を、どんな位置で書いていったのか明らかにしていくことをすすめた。その作業の中で、穿子とか、三つ留枠とか清水がえがかれてきた。

さらに詩の創作活動として、論理的な思考力が中心となつて表現できる詩へのねらいから、三回推敲を重ねていった。

推敲を重ねるごとに、史朗君の心の中で生々しく生き続けている強烈なものがひきだされてきてこの詩ができあがっていった。



友成先生は史朗君の担任で、金山を訪れたとき、同君の目の輝きやメウを記していた姿をみて、本人の感動した気持ちをそのまま表現するよう丁寧に指導されています。先生の指導力に敬意を表します。

おめでとう

50万人目



早速、感想を聞いてみました。「ほんの偶然来ただけなのに区切りのよい五十万人目、幸せものです。これから運が開けてくるかも」とにっこり微笑んで答えてくれました。また「この日は春休み最後の子孝行で城島に行くつもりでしたが、雨でも行けるところということで訪れました」とのこと。雨でも強い金山の証明!!

金山オープン以来、順調な客足で好評を博していますが、ついに満一年目を直前にひかえた四月四日午後一時すぎ、入場者が五十万人に達しました。この日はあいにく雨模様でしたが好運にも五十万人目の入場者になった人は、福岡市中央区に住んでいる大塚文代さんです。小柄で端正な顔つきの四人のお母さん。ご主人とお子さんの六人づれでした。

役場人事異動

役場では4月1日付で下記のとおり人事異動を行ないました。今までは若干名の異動しか行なっていませんでしたが、今回は10数年ぶりの大きなものです。そして係長級以下を中心として行なっています。この異動により若い職員に勉強してもらおうという方針で行なっておりますので、みな様方のご協力をお願いします。注（ ）内は旧課名

- ★産業課 農林係長吉田伸一（建設課）・金山庶務係長川村恭一（住民課）・住民課住民係長永瀬宝（総務課）・教委学校教育係長武原勇一郎（産業課）・建設課振興営繕係長杉野喜一郎（金山）・企画開発室企画係長森本久宣（教委）・総務課財政係長佐藤潤（企画開発室）・産業課農林主任長谷部建美（農協出向）・農協出向吉本博則（産業課）・税務課税務国土調査主任川津憲司（産業課）・産業課商工農林主任川津恵二（教委）・総務課総務主事森下恵子（住民課）・金山業務主事水野美代（総務課）・税務課国土調査税務主事遠坂洋行（建設課）・建設課振興営繕主事永瀬常富（税務課）・教委学校教育社会体育主事補合谷良一（金山）・産業課商工農林主事補新原守人（新採用）・住民課福祉主事補永瀬英治（新採用）

教職員人事異動

4月1日付で教職員の異動があり3名の方が退職されました。また異動された先生方大変ありがとうございました。転入された先生方よろしくお願ひします。

退職転出

退職	河村又一郎(津江中)
"	井上 博之(丸蔵小)
"	田淵 涼子(津江中)
金池小	佐藤 文子(鯛生小)
光岡小	河野 俊明(丸蔵小)
桂林小	桜木三和子(")
石井小	高瀬美保子(")
塚脇小	笹木 勇(川辺小)
有田小	長嶋 素子(")
桜竹小	功能いづみ(")
出口小	佐藤 美幸(")
大山中	原 信幸(津江中)
若宮小	堀 清雄(")

転 入

鯛生小	養教	原田 弘美(新採用)
丸蔵小	教諭	平川 哲夫(准園小)
"	"	森山 智徳(新採用)
"	"	河野 美保(")
川辺小	教諭	合原 正幸(")
"	"	穴井千奈美(")
養教	河津 律子(")	
津江中	校長	福嶋 忠之(上津江中)
校長	教諭	長谷部 忍(五馬中)
"	"	仁田坂淳哉(鶴崎中)
主事	児玉 靖士(塚田小)	

お知らせ

調理師試験準備講義が六月四・五日に日田商工会議所で行なわれます。希望される方で詳細について知りたい方は日田保健所(Tel二二一三三三三)までお問い合わせください。

雑記

◎今年の異常気象、ただものではありません。梅は二月、桜は四月と相場が決まっています。今年は一度に花が開きました。花のない殺風景な時期から一度に花が咲くので、まぶしく目に映ります。野菜など季節感のないものが増えている今日このごろ、自然の花の世界もそれにつられて？自然との調和も一考する必要があるのかもしれない。◎役場の人事異動が大幅にありました。久方ぶりの大異動、多少事務が混乱しています。しかし、これは職員の問題で住民の方には迷惑はかけられません。ひとつとしてご迷惑をかけたときにはご勘弁ください。